

■ 科学技術政策大綱主な施策の進捗状況

新規施策は(新)を付け、変更箇所には二重下線を付けています。いずれも、該当する箇所は太枠にしています。各県試験研究機関等の注力する事業のうち、該当する事業を含んでいるものは(注力)を付けています。

1 「経済のエンジンを回す」科学技術活動の展開

(1) 知的創造活動の展開と産学公連携による共同研究の推進

項目	内容
基盤技術の研究推進	産業界や社会全体に有用な基盤技術を生み出すための公募による開放型の研究プロジェクトの推進(産技総研)
地域に密着した研究推進	産学公の連携による大綱の重点研究目標に沿った研究活動の展開(県試験研究機関等)
県有知的財産等の創出・活用	県試験研究機関等の研究活動による知的財産の創出及び活用の促進
国立研究開発法人の活動の地域展開	世界最先端の研究を行っている国立研究開発法人と県試験研究機関等との共同研究等の推進
大学、企業等との研究開発・ネットワークの構築	「神奈川R&Dネットワーク構想」に基づいたオープンイノベーションのための技術連携の促進(産技総研)
	県内大学が中心となって推進する「かながわ産学公連携推進協議会」との連携(産技総研)
	県内大学等との包括連携協定の活用及び共同研究・人材育成の促進(県試験研究機関等)

(2) 中小企業支援などによる研究成果の産業への活用

項目	内容
大学・大企業等から中小企業への技術移転等	神奈川版オープンイノベーション等による、大学・大企業等と中小企業間の技術移転・活用等のコーディネート ¹ の推進(産技総研)
研究開発型ベンチャーへの事業展開支援	大学等での研究開発成果を基に立ち上げたベンチャーへの開発支援
オープンラボの開設	中小企業等が参加する共同研究開発へ結びつける場を提供する、オープンラボの展開(農業技術センター、産技総研)

橋渡し研究の実施	大学等の研究成果と中小企業等による製品開発を結ぶ「橋渡し」を効果的に行うための、大学等の研究シーズと中小企業等の開発ニーズの双方向からの研究開発(産技総研) 注力
企業の知的財産活動の支援	特許活用情報の普及・啓発のための関係各機関との連携セミナー等の開催や特許流通・技術移転等に関する相談・アドバイス等による中小企業の知的財産活用の促進(産技総研) 知的財産関係の資料や科学技術関係の文献・データベースの提供、相談事業、講演会等を通じたものづくり技術の支援(川崎図書館)
企業への経営・技術・金融の総合支援	神奈川産業振興センター、県信用保証協会、日本政策金融公庫と連携した四者連携による県内中小企業に対する「創業・イノベーション創出支援」の戦略的推進(産技総研)
製品化・商品化支援	県内中小企業等に対する製品化・商品化支援(県試験研究機関等) IoTに関する開発、検証環境の提供や3Dプリンター等を活用した支援(産技総研) 注力 HEMSや水素・燃料電池関連分野の技術・製品開発の促進
水産業振興のための技術開発	栽培漁業における優良種等の安定生産技術の開発(水産技術センター) 注力 漁業現場へのロボット等の導入による省力化技術の開発(水産技術センター) 漁業資源の変動及び漁場環境の調査・研究(水産技術センター)
農業振興のための技術開発	かながわらしい地産地消を推進するための技術開発(農業技術センター) 農業経営の高度化・安定化を促進するための技術開発(農業技術センター) 注力 農業の多様な担い手を育成・確保するための技術開発(農業技術センター)
畜産業振興のための技術開発	県産畜産物の高品質化・高付加価値化及び生産性向上の推進(畜産技術センター) 家畜の繁殖性向上技術に関する開発(畜産技術センター) 注力 県産畜産物の有利販売を支援する技術開発(畜産技術センター)
林業振興のための技術開発	花粉のないスギ・ヒノキの開発等による森林・林業の再生への支援(自然環境保全センター)

(3) 市場展開を見据えた産業支援

項目	内容
試験計測、試験所認定に係る取組み	中小企業等からの多様な試験計測や分析等のニーズに対応するための、国際規格・国内規格に準拠した品質の高いサービスや、オーダーメイド試験の迅速な実施(産技総研)
性能評価・認証基準に係る取組み	国際評価技術センターとして、研究成果を活用した新技術の性能評価や認証基準に係る取組みの推進(産技総研) 注力

デザイン支援・ブランド戦略	技術・デザイン・経営面における県内企業の自社ブランド確立の総合的支援(産技総研)
	組織的な生産体制に基づき、品質・生産量並びに供給体制の向上・安定を目指すことによる県内産農林水産物のブランド戦略の実施(県試験研究機関)
金融機関やファンドとの連携によるファンド組成や支援	金融機関やファンドとの連携による中小企業・小規模企業等への支援(産技総研)
	県主導により組成されたファンドによるヘルスケア産業のベンチャー企業等への支援

(4) 成長産業の創出・育成支援に向けた研究活動の展開

項目	内容
実用化に向けた環境づくり	国家戦略特区における健康・未病産業及び最先端医療関連産業に関する取組み
	国際戦略総合特区におけるライフサイエンス産業の創出・集積による国際戦略拠点の形成
	地域活性化総合特区における生活支援ロボットの実用化促進及び関連産業の集積促進
新たなヘルスケア・社会システムを実現する先進技術の追求	最先端医療に資するライフサイエンス分野の研究開発(産技総研)
	腸内細菌叢による未病改善、診断技術の開発(産技総研)
	異なる先進分野が融合する研究プロジェクトの推進及び研究設備の共同利用等の支援
	「ライフイノベーションセンター」を核とした再生・細胞医療分野の産業化促進事業の推進
	創薬・再生細胞医療及び医療機器等について、レギュラトリーサイエンス及び臨床試験等での支援機能の構築
未病の科学的なエビデンスの確立・未病概念の普及促進	最先端のヘルスケアロボットを活用した未病改善モデル事業の実施及び新たな社会創りの検討
	食品等の機能性・安全性を遺伝子レベルで評価する技術の開発(産技総研)
	未病状態を示す指標及び行動変容を促進させるモデルの開発
	神奈川ME-BYOリビングラボ推進事業の実施
	最先端のヘルスケアロボットを活用した未病改善モデル事業の実施及び新たな社会創りの検討【再掲】
健康情報等プラットフォームを活用した未病産業・ヘルスケアサービスの展開及び「マイME-BYOカルテ」を通じた健康状態の見える化の実施	

生活支援ロボット等の実用化・普及の促進	生活支援ロボット等の共同研究開発や実証実験等による実用化の促進
	生活支援ロボットのデザイン面から商品化を促進する総合的なものづくり支援(産技総研)
	力触覚技術を応用した医療福祉ロボットの開発(産技総研)
	最先端のヘルスケアロボットを活用した未病改善モデル事業の実施及び新たな社会創りの検討【再掲】
	ロボットの体験機会の提供等、生活支援ロボットの普及促進
エネルギー政策の推進に向けた技術の開発・活用の推進	地中熱利用と地下水保全に関する研究及び地域に適した地熱利用のあり方の検討(温泉地学研究所)
	畜舎における再生可能エネルギー利用技術の開発(畜産技術センター)
	創エネのための発電効率の高い燃料電池の研究開発(産技総研)
	高機能と高信頼性を併せ持つセラミックス材料の開発と評価方法の確立(産技総研)

2 安全・安心の確保など生活の質の向上を実現する科学技術活動の展開

(1) 健康長寿社会の実現に寄与する科学技術活動の展開

項目	内容
診断・治療などの医療福祉技術の革新	がんの新たな診断・治療方法の開発等、より良い診断法や治療法を確立するための臨床研究及び重粒子線治療の推進((地独)県立病院機構)
	化学物質等の安全性評価法の確立と国際標準化(衛生研究所) 注力
	アレルギーの免疫療法における治療効果の評価(衛生研究所)
	細菌・ウイルス感染症対策に関する研究開発(衛生研究所) 注力
	最先端医療に資するライフサイエンス分野の研究開発(産技総研)【再掲】
疾病対策の推進	マَسギヤザリングイベントにおける感染症対策の推進(衛生研究所) 新
IT・ロボット関連技術などの医療・福祉分野への活用	リハビリ支援や移動介助等、介護・医療ロボットの実用化プロジェクトの実施
	力触覚技術を応用した医療福祉ロボットの開発(産技総研)【再掲】
生活の安全を確保する調査・研究	生活環境の安全に関する調査・研究(衛生研究所)

安全・安心な食品提供	食品等の機能性・安全性を遺伝子レベルで評価する技術の開発(産技総研)【再掲】
	農畜産物の安全を確保するための技術の開発(農業技術センター、畜産技術センター)
	えん下困難者等の介護食及び学校給食などに利用できる新規加工技術の開発(水産技術センター)
	食品・飲料水等の安全確保に向けた試験検査(衛生研究所)
未病の科学的なエビデンスの確立	食品等の機能性・安全性を遺伝子レベルで評価する技術の開発(産技総研)【再掲】
	未病状態を示す指標及び行動変容を促進させるモデルの開発【再掲】
	神奈川ME-BYOリビングラボ推進事業の実施【再掲】

(2) 自然災害等へ対応する研究・モニタリング活動の推進

項目	内容
防災、減災対策につながる活動	地震・地殻変動観測の実施及び県内の地震活動、箱根の火山活動に関わる研究(温泉地学研究所、環境科学センター) 注力
	災害対応ロボットの実用化プロジェクトの実施
	消防における災害対応ロボットを活用した教育・訓練機能の強化
放射線等のモニタリング活動等	大気・水・食品・工業製品・土壌等に係る放射線等のモニタリング及び検査(農業技術センター、衛生研究所)
	放射線等に係る知識の普及活動、出前講座の実施(衛生研究所)

(3) 自然・生活環境の保全など県民生活につなげる活動の推進

項目	内容
生活環境の保全等に関する調査研究・モニタリング活動	大気汚染・水質汚濁等の、幅広い環境問題の解決に向けた調査研究・環境モニタリング(環境科学センター) 注力
	健全な水循環を確保するための、河川・溪流・湖沼等の水質や生態のモニタリング(環境科学センター、自然環境保全センター)
	温泉等豊かな地下水資源の保全及び有効利用のための水収支・湧出メカニズムの解明(温泉地学研究所)
自然環境・水源環境に係る活動	丹沢大山や水源地域の自然環境・水源環境の保全と再生に向けた取り組み(自然環境保全センター) 注力
	花粉のないスギ・ヒノキの開発等による森林・林業の再生への支援(自然環境保全センター)【再掲】
	レッドデータブック作成や県内の生物多様性情報収集のための調査研究(生命の星・地球博物館)
	海洋や河川等の水域環境の改善に向けた取り組み(水産技術センター) 注力
	豊かな生態系を育むための漁場環境や水産資源の管理、栽培漁業に関する研究(水産技術センター) 注力
気候変動に対応する技術の開発	気候変動に伴う海洋環境の変化に対応した新たな技術の開発(水産技術センター)
	地球温暖化に対応した農産物の生産技術の開発(農業技術センター)
化学物質やシックハウス原因物質等の研究・評価	工場等の事業活動に伴い排出される化学物質、シックハウス原因物質や排気ガスなどの健康及び環境への影響評価(環境科学センター、衛生研究所) 注力
環境保全型農畜産業の推進	環境に調和する農業を推進するための技術開発(農業技術センター) 注力
	未利用農地等における飼料作物栽培の技術開発(畜産技術センター)
	畜舎における臭気の発生抑制・脱臭の技術開発(畜産技術センター)
	未利用有機物資源を有効活用するための技術開発(農業技術センター、畜産技術センター)

3 イノベーション創出を担う人材の育成と科学技術の情報発信

(1) イノベーションを生み出す人材の育成

項目	内容
研究者・技術者の育成	企業の研究者や技術者、大学生及び大学院生等を対象とした先端的かつ高度な情報による教育講座の実施（産技総研）
	中小企業等において技術開発を担う中核人材の育成（産技総研）
ヘルスケア・ニューフロンティアを支える人材の育成	県立保健福祉大学大学院に設置する新研究科（ヘルスイノベーション研究科）による国際的医療人材の育成
	世界保健機関（WHO）への職員派遣やWHOと連携した人材育成事業等の実施
	保健衛生に関する行政職員や海外研修生等の人材の育成（衛生研究所）
起業家の育成	かながわシニア起業スクールの実施
	大学と連携した起業家教育の推進
将来の理工系人材の育成	中高生を対象とした理工系分野の魅力を知ってもらうための「かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア」の開催
	理数教育推進校指定による生徒の個性や優れた能力を伸ばす教育の推進
	高校生及び中学生の科学技術への関心を高めるための「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の推進及び「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」神奈川県大会の開催
	科学研究等を通して課題解決力・論理的思考力・コミュニケーション力を身につけるための高校生向け講座の実施（青少年センター）
	県立高等学校への資料提供及びレファレンスサービス、生徒発表会等の開催（川崎図書館、青少年センター）
	女子中学生、高校生の理系志望（理工系進学・就労、研究職系技術職系進学・就労）を促進・支援する「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」を実施（かながわ男女共同参画センター）
地域で活躍する科学技術系人材の育成	地域の環境活動の中心的役割を果たす環境学習リーダー等の育成・支援（環境科学センター） 注力

(2) 子どもたちの科学技術に対する興味・関心の喚起

項目	内容
かながわサイエンスサマーの実施	夏休み期間中に県内の各機関で実施される科学技術関連行事の情報提供及び県試験研究機関等による行事の開催
科学技術に係る体験の場の促進	科学実験や科学工作等、子どもたちが参加する体験型の実験や教室、研修の開催（県試験研究機関等、青少年センター、生命の星・地球博物館）
	研究者や技術者等を小・中学校に派遣し科学を実際に体験できる授業の実施（産技総研）
	子どもたちの科学に対する多様な関心に即した依頼型の出前科学体験教室の開催（青少年センター）
	小・中学生等の子どもを対象としたイベントの開催（生命の星・地球博物館）
	ものづくりの楽しさを体験できる小学生向け教室の開催（青少年センター）
	ロボットのプログラミングを学習し課題解決力等の育成を図る講座の開催（青少年センター）
科学への興味・関心を喚起する活動	青少年向け「科学技術フェスティバル」「夏休みおもしろ科学体験」等の開催（産技総研）
	県内各地で科学体験ができる「子どもサイエンスフェスティバル」や全国大会と連携して行う「青少年のための科学の祭典」及び「青少年のためのロボフェスタ」の開催（青少年センター）
	子どもたちが自然や環境と触れ合う機会の提供（青少年センター）
	「おもしろ実験・科学工作指導者セミナー」等、科学体験指導者の育成・支援（青少年センター）
	小学校での楽しく分かりやすい理科授業を支援するための現職教員及び教員を目指す大学生を対象とした研修の実施（青少年センター）
	大学と連携した地域の理科教育の中核的な役割を担う小・中学校教員（コア・サイエンス・ティーチャー（CST））の養成
	科学研究の模倣をすることにより課題解決の手法を学ぶ小学生向け講座の実施（青少年センター）

(3) 科学技術に係る活動等の情報発信

項目	内容
活動・成果の発信	施設公開、成果発表会、対話型の活動成果の紹介及びホームページや成果資料集等を通じた積極的な情報の発信（県試験研究機関等）
	生活支援ロボットの実用化・普及を進める「さがみロボット産業特区」の活動や成果の発信
県民に身近な情報の発信	県民が利用しやすくわかりやすい情報発信及び県民との協働活動等の推進（県試験研究機関等）
研究者からの発信	研究者自らが県民に語りかける双方向のコミュニケーション活動等の実施（県試験研究機関等）
県民、NPOとの連携	自然環境の保全・再生に向けた取組みにおける県民やNPO等との連携・協働（自然環境保全センター、水産技術センター）
生涯学習推進、博物館等との連携	科学館や博物館等との連携による科学体験活動の推進を目的とした「神奈川県青少年科学体験活動推進協議会」の活動の展開（青少年センター、川崎図書館、生命の星・地球博物館）
	箱根ジオパーク活動の推進による県の地学的特異性・重要性を周知・喚起する取組み（温泉地学研究所、生命の星・地球博物館）
	ホームページ「インターネット科学館」による科学実験の紹介や天文観測情報等の公開（青少年センター）
	自然科学・工学・産業技術等の図書や雑誌の提供、「ものづくりギャラリー (仮称) 」の設置等テーマを設定した資料の展示、講演会及びものづくりカフェ (仮称) の開催（川崎図書館）